

【内 容】 まだけっ子マラソン大会

1 「活動内容」



マラソン大会に向け、朝の活動の時間に5分間走をしたり、体育の時間に持久走をしたりして練習した。



大会当日は、4つの部に分かれ、タイムを競った。応援に駆けつける保護者もあり、盛り上がりを見せた。



1週間前には試走を行い、目標タイムを設定したり、本番でがんばろうという気持ちを高めたりした。

平成24年度上位入賞者の成績

○分○秒		1位	2位	3位
低学年 (800m)	女子	3.50	3.55	3.56
	男子	3.22	3.26	3.26
高学年 (1000m)	女子	4.29	4.33	4.34
	男子	3.33	3.36	3.37

1位から3位の児童には、賞状をわたしている。タイム宣言マラソンに取り組んだ年もあった。

2 児童・生徒（保護者）の反応

- 目標タイムを設定し、それに向かって1秒でもタイムを縮めようがんばったという感想が多くみられた。一方、順位ではなく完走を目標に走り、最後まで走り通せたことに満足した児童もいた。
- 毎年恒例の行事で、前年の順位やタイムを覚えている児童も多く、マラソン大会を楽しみにしている様子が伺える。熱心な保護者は、子どもたちの姿をひと目見ようと応援にも積極的に駆けつけてくれている。

3 成果と課題

- 寒い時期の体力づくりとして、マラソンに取り組むことで確実に持久力アップが図れている。また、目標に向かって努力することで、粘り強さも身につけられている。
- 走ることを苦手としている児童に、目標をどう持たせるか、がんばりをどう評価するか、特に配慮が必要である。以前に行われたことがある「タイム宣言マラソン」も再考の余地がある。